

The Empty Cage

空っぽの鳥カゴ

こんな鳥、
ほしくないでしょう。
ただの野鳥なんか、
歌も歌わないし、
きれいでもないし……



イースター（復活祭）の前日のことです。ジョージ・トーマスという人が散歩をしていると、向こうから、錆びた古い鳥かごを左右に振りながら歩いてくる少年がいました。彼はその少年を呼び止めて、鳥かごの中には何が入っているのかとたずねました。

「ただの鳥が3羽入っているだけですよ。」と少年は答えました。「家へ持って帰って、ちょっと遊ぼうと思って。いじめて羽根をむしりとりして、けんかさせるんです。」

「でも、そんな鳥なんか、じきに飽きてしまうんじゃないかね。そしたら、どうするんだい？」と、トーマスは言いました。

「ああ、僕は猫を飼っていますからね。猫は鳥が好きだから、えさにしてやりますよ。」

トーマスは少しの沈黙のあと、こう切り出しました。「その鳥をいくらで売ってくれるかな？」

「え？」少年は信じられないという様子です。「こんな鳥、ほしくないでしょう。ただの野鳥なんか、歌も歌わないし、きれいでもないし……。」

「いくらだい？」トーマスがまた聞いたので、少年は、頭がおかしいんじゃないかと、トーマスの顔をうかがいながら、「10ドル！」と言いました。

トーマスはポケットから10ドル札を取り出し、鳥かごと引き換えに少年の手に握らせました。瞬く間に、少年はどこかへ行ってしまいました。

トーマスは、鳥かごを持って草原に行き、それからかごの扉を開いて鳥たちを逃がしてあげたのです。

次の朝はイースターでした。トーマスは、空っぽになった鳥かごを仲間に見せて、少年と鳥の話を聞かせました。それから、次のようなたとえ話をしたのです。

ある日、悪魔とイエスが話をしていた。

「まあ、聞いてくださいいな。」悪魔がさも嬉しそうにほくそえんで言った。「人間でいっぱいのお全世界を手に入れたんですよ。罫をかけたら、みんな引っかかったんで。」

「その人間たちをどうするつもりなのかい？」イエスがたずねた。

「ちょっと楽しもうと思ひましてね。」 悪魔は嬉しそうに答えた。「嘘のつき方や、だまし方、盗み方、殺し方を教えてやります。こいつは楽しくなりそうだ！」

「その後はどうする？ その楽しみが終わった後は？」

「その後は、みんな殺してやりますよ。」 悪魔は自慢げに言った。

「彼らと引き換えに何がほしいかね？」

イエスが聞いた。

「ええ？ こんな人間たち、あなたはほしくないでしょう。ろくでもない奴らですよ。あなたをただ憎むだけの奴らです。あなたを惨めにして打ちのめし、最後には殺してしまうんですよ。こんな人間たちなど、ほしいはずがない。」

「いいから、何がほしいのか？」 イエスは再び聞いた。

悪魔はイエスを見据えて、冷たく笑った。「あなたの命ですよ。」

「決まりだ！」

そしてイエスはその代価を払った。

作者不詳



イエスが、どのような代価を払ったか知っていますか？ イエスは十字架にかけられて、私たちのために死んで下さいました。罪にまみれた人類を救うために、自らの命を犠牲にして、救いをもたらして下さいました。それは、イエスご自身の選択でした。

神がエデンの園に人を造られた時、人には神からの指示を守るか、それとも不従順によって罪を犯すかの選択がありました。そして、アダムとイブが悪魔にそそのかされて以来、人類は悪魔の罠によって罪におおわれています。

悪魔は狡猾に人を誘惑し、人がその誘惑に引っかかると、今度はその人を非難するのです。そして、最後には、人を罪と偽りによって縛り、檻に閉じ込めてし

まうのです。この世界の偽りや傲慢、暴力や戦争などのあらゆる混乱は、人々が悪魔のわなにはまってしまった結果ともいえます。

人が神に従わなかったゆえに、悪魔は人類をその手に捕らえました。多くの人が、鳥かごの鳥のように、悪魔の罠に閉じ込められています。その罠は、抜け出ることができないような困難な状況かもしれないし、または、悪習慣や恐れや後悔の念のような、目には見えない心の状態かもしれません。

しかし、次の聖書の言葉にあるように、イエスは、それらの全てから人々を解放するために地上にいられたのです。

「こころのいためる者をいやし、
捕われ人に放免を告げ、
縛られている者に解放を告げ、
主の恵の年と
われわれの神の報復の日とを告げさせ、
また、すべての悲しむ者を慰め」

(イザヤ書 61:1-2)

イエスは私たち一人一人を心から愛しておられたので、人々を悪の罠から救い出すために、ご自分の命を引き換えにされました。イエスの死によって、私たちはすべての悪の束縛から自由になれます。それだけではありません。イエスは死んだ後、三日後に復活され、それによって、「死」にも打ち勝ったのです。ですから、イエスを信じる人は皆、永遠の命と共に、永遠の自由と喜びとを受け取ることができるのです。

イエスは、私たちのために一つの決断をされました。それは、あなたのために死ぬことでした。あなたは、イエスからの解放を受け取るという決断をしますでしょうか？ まだ、この自由と永遠の命を受け取ったことがないなら、ぜひ、次の祈りを祈って、すべての束縛からの解放を受け取って下さい。

「イエス様、あなたが私のために死んで下さったことを感謝します。今、私の心の中に入り、私の魂を自由にして下さい。そして、永遠の命と愛と生きる喜びを与えて下さい。イエスのみ名で祈ります。アーメン」